

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三井金属鉱業株式会社（証券コード:5706）

【見通し変更】

長期発行体格付	A -	
格付の見通し	安定的	ポジティブ

【据置】

債券格付	A -	
国内C P格付	J - 1	

格付事由

- (1) 亜鉛製錬を主力とする金属事業のほか、エレクトロニクス製品や自動車部品の素材となる機能材料、自動車用ドアロックを主体とした自動車機器など多様な事業を手掛ける。極薄銅箔、二輪車向け触媒、エコカー向け電池材料、ITO ターゲット材、自動車用サイドドアラッチなど世界的にシェアが高い製品を多数抱える。
- (2) 収益源の分散が進み、過去と比べて収益安定性が増している。触媒や極薄銅箔などの高シェア製品を中心に機能材料の収益は底堅い。また、堅調な亜鉛市況や円安を背景に亜鉛製錬の収益が好調である。2 期連続で減損損失を計上したカセロネス銅鉱山も 15 年夏にはようやくフル稼働に移行するもようである。自動車機器は生産拠点の再編が完了し、収益性が向上した。当面は増益が続く見通しであり、財務面でも 14/3 期をボトムに改善に向かっている。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的からポジティブに変更した。
- (3) 16/3 期経常利益は 360 億円（前期比 70.6%増）と 2 期連続の増益を予想している。円安や亜鉛市況上昇により引き続き亜鉛製錬の収益改善が見込まれることに加え、自動車機器のコスト削減効果や 15/3 期に計上したカセロネス銅鉱山の減損およびマレーシア銅箔事業に係る為替差損がなくなることが増益要因となる。17/3 期以降は四輪車向け触媒の収益貢献が見込まれ、業績は堅調に推移する見通しである。
- (4) カセロネス銅鉱山への投資が一巡したことから有利子負債が減少に転じた。また、利益の増加に加えて円安による効果もあり、自己資本が増加した。この結果、15/3 期末のデットエクイティレシオは 1.1 倍と 14/3 期末の 1.4 倍から改善した。16/3 期以降もフリー・キャッシュフローはプラスを維持できる見通しであり、当面は財務の改善が続くと考えられる。

（担当）古川 聖治・水川 雅義

格付対象

発行体：三井金属鉱業株式会社

【見通し変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第9回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2010年12月16日	2015年12月16日	0.80%	A-
第10回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2011年11月29日	2016年11月29日	0.76%	A-
第11回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2012年11月29日	2017年11月29日	0.74%	A-
第12回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年6月4日	2018年6月4日	0.79%	A-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第13回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)	100億円	2013年11月28日	2020年11月27日	0.76%	A-
第14回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)	100億円	2014年12月16日	2019年12月16日	0.271%	A-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	400億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2015年6月29日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎
主任格付アナリスト：古川 聖治
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ(<http://www.jcr.co.jp>)の「格付方針等」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ(<http://www.jcr.co.jp>)の「格付方針等」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「非鉄金属」(2011年7月13日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 三井金属鉱業株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル